科学研究費補助金基盤(A)「東アジア古典学の次世代拠点形成——国際連携による研究と教育の加速」 The Creation of a Next-Generation Hub for East Asian Classical Studies: Accelerating Research and Education through International Collaboration

東アジア古典学の方法第53回

## 東アジア古典学の フロンティア

## 書記表現から見えてくるもの一

プログラム

総合司会

齋藤希史 (東京大学)

【3月15日(金)】

14:00 上代セッション 司会: 道坂昭廣(京都大学)

「古代文字史の転換期—Motive, Means, and Opportunity」

David Lurie (コロンビア大学)

「日本上代表記史の捉え方」

矢田勉 (東京大学)

15:40 中古セッション 司会:**金沢英之**(北海道大学)

「定説からの離脱ー『源氏物語』「別本」を考える一」

佐々木孝浩 (慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫)

「『源氏物語』写本の表記|

田村隆 (東京大学)

【3月16日(土)】

10:00 中世セッション 司会:田村隆(東京大学)

「中世の『日本書紀』注釈――漢字世界と声の世界の間で」

金沢英之(北海道大学) 徳盛誠(東京大学)

12:30 近世セッション 司会: 徳盛誠 (東京大学)

「日本で漢詩を作るということー津阪東陽『夜航詩話』から」

道坂昭廣 (京都大学)

「擬古と華音――近世日本漢詩の指向として」

齋藤希史 (東京大学)

14:10 総合討論 司会:馬場小百合(帝京大学)

## 【討論参加者一覧】

松原舞(東京大学・特任研究員) 飛田英伸(東京大学・博士課程) 武茜(東京大学・博士課程)

佐藤嘉惟(東京大学・博士課程) 関谷由一(北海道大学・共同研究員) 高尾祐太(北海道大学・博士課程)間枝遼太郎(北海道大学・修士課程)

北川原慧琳(東京大学・博士課程)

張齢云(京都大学・博士課程)

成高雅(京都大学・博士課程)

デフランス・アーサー (パリ国立高等研究員 (E.P.H.E))

2015年から4年間にわたって行なってきた本 研究プロジェクトでは、東アジアにおいて、書 かれ、編まれ、引用と参照を繰り返されてきた ものとしての「古典」とそれを研究する方法と しての「古典学」について、討議を重ねてきま した。その一つの締めくくりとなる今回の研 究集会は、私たちの方法の原点が書記表現の 分析と考究にあることを改めて確認しつつ、 書かれたものとしての「古典」がどこまで力を 持ち得るのか、私たちの分析と考究がどこま で届くのか、いわば「古典学のフロンティア」 を拓くべく、上代から近世にいたるまで、4つ のセッションを設け、2日間にわたって討議 します。

## 事前申込・定員制



東京大学駒場キャンパス 18 号館

コラボレーションルーム 2



2019年3月15日(金)

16 日 (土)

主催:科学研究費補助金基盤(A)「東アジア古典学の次世代拠点形成——国際連携による研究と教育の加速」

http://eacs.c.u-tokyo.ac.jp/ (科研ホームページ)

eastasia@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp (科研事務用アドレス)